

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大阪府大阪府吹田市江坂町1-20-22

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
アルピ東プラ株式会社
代表取締役社長 南目 益男

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 - 第25条第4項
第27条第1項 - 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更)]
[事業者行動報告書を作成]
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	アルピ東プラ株式会社 代表取締役社長 南目 益男
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪府大阪府吹田市江坂町1-20-22

1 事業所の概要

事業所の名称	アルピ東プラ株式会社 滋賀竜王工場					
事業所の所在地	滋賀県滋賀県湖南市日枝町2番地1					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	2	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチックシート製造業
事業の概要	プラスチックシート、電気機械器具用プラスチック製品、工業用プラスチック製品					
従業員の数	83	人	作業時間	24 (8時~8時)	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	16	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	1	台
				照明設備	751	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	6	年度	報告対象年度	6	年度
	終了 年度	10	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

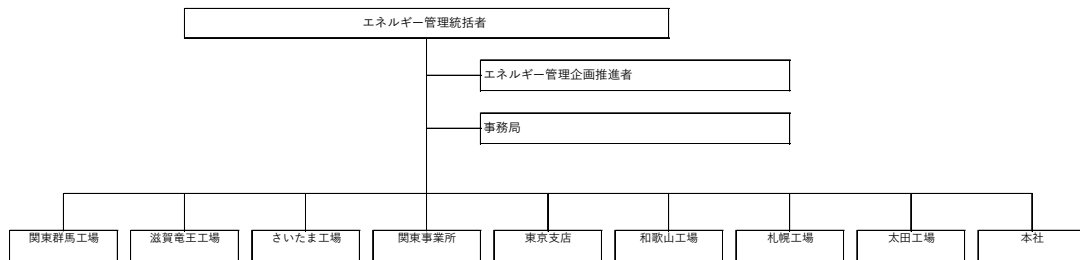
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

全社的に2030年までに、リサイクルPETシート生産における天然資源使用量削減およびCO₂排出量抑制について15%向上を目指します。

1. PETボトルのリサイクル原料から、包装資材などに使用されるリサイクルPETシートを生産し、資源の有効活用に努めています
2. 生産において発生する真空成形の端材や、成形不良の再利用を行っています
3. モーダルシフトや最適地生産を通じ、物流によるCO₂排出量の削減に努めています
4. 工場建物の屋根一面に太陽光発電装置を設置。化石エネルギー使用量とCO₂排出量の削減に努めています

2 取組の推進体制

RP東プラ株式会社
エネルギー管理委員会 全社組織図



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネ対策として、平成31年度より継続的に以下の取組実施

- ・射出成形機更新により電力量低減(5KL/年) 1.8t-CO₂削減
- ・真空成形機更新により電力量低減(10KL/年) 3.6t-CO₂削減
- ・工場内照明のLED化により電力量低減(17KL/年) 6.1t-CO₂削減
- ・再生可能エネルギーの導入として太陽光発電を検討したが、建屋の強度問題により断念
- ・高効率油圧プレス機への更新により電力量低減(10KL/年) 3.6t-CO₂削減
- ・空調設備更新により電力量低減(21KL/年) 7.5t-CO₂削減
- ・高効率空気圧縮機への更新により電力量低減(10KL/年) 3.6t-CO₂削減

これらの取り組みにより温室効果ガス排出量を2019年比で1.0%削減した。

【関西電力による省エネ診断2021年03月】

- ・第1工場…エア吸込み箇所の変更(高所化)
- ・第2工場…生産スケジュール調整によるピーク電力平準化
- ・第1,第2工場のエアー漏れ測定

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	第2工場倉庫内照明(64台)のLED化による電力量削減【削減見込1.7t-CO ₂ /年】	R6年度～	計画通り実施済み
2	設備導入	乾燥炉更新	R7年度～	
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記取組み等により、令和5年度を基準年度として以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位 「 温室効果ガス排出量/生産量 」 で毎年1%の削減、5ヶ年で5%の温室効果ガス削減を目指す</p> <p>原単位設定の考え方は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの排出量は生産量の増減に左右されるため、原単位指標(分母)を生産量に設定。 上記取組み等による削減効果を評価するため、電力のCO₂排出係数(電力原単位)は計画基準年度(R5年度)の係数に固定。 	<p>【R6年度】</p> <p>上記取組含め改善を行った結果、生産増により全体の排出量は増加したが、原単位(係数固定0.36)では約10%の削減となった</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R6)年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,324	2,416				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,798	4,586				
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,798	4,586				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.420	0.378				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					